

新フェローの紹介

久野 誉人 (くの たかひと) 氏

昭和 34 年 6 月 22 日 生れ

〔現住所〕茨城県つくば市並木

〔学歴〕昭和 63 年 東京工業大学大学院理工学研究科社会学専攻博士課程退学 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 63 年 4 月 東京工業大学社会工学科助手

平成 3 年 8 月 筑波大学電子・情報工学系講師

平成 6 年 9 月 同助教授

〔OR 学会関係〕第 27 回文献賞 平成 11 年度, 庶務幹事 平成 2~9 年度, 論文誌編集委員 平成 12~15 年度, 「アルゴリズムと最適化」研究部会主査 平成 13~14 年度

〔著書等〕学術論文等約 30 編, 研究発表多数

久野氏は, 大域的最適化の分野で精力的な研究活動をされており, 特に特殊構造をもつ非線形非凸計画問題に関しては, 現実的な計算時間で大域的最適解を求めるためのアルゴリズム研究に多くの成果を残されており, 平成 11 年度には本学会文献賞を受賞されました。また, 研究部会主査として, 数理計画法を学ぶ学生中心の研究発表会を開催されるなど, 若手研究者の育成にも尽力され, この研究発表会は「アルゴリズム」研究部会に受け継がれ, 現在も続いています。本学会においては, 庶務幹事, 論文誌編集委員として活動を支えてられました。

小谷 重徳 (こたに しげのり) 氏

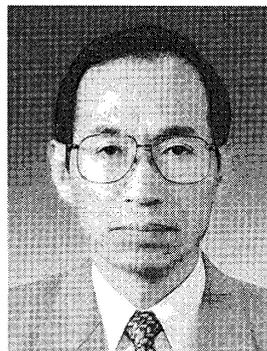
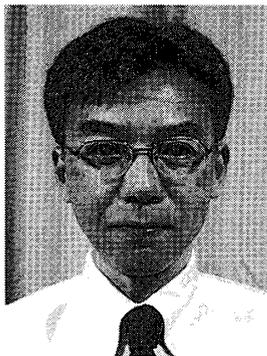
昭和 23 年 10 月 17 日 生れ

〔現住所〕愛知県豊田市美里

〔学歴〕昭和 48 年 名古屋工業大学大学院工学研究科経営工学専攻修士課程修了

〔職歴〕

昭和 48 年 トヨタ自動車(株)入社



現在, コーポレート IT 部主査, 南山大学数理情報学部非常勤講師

〔OR 学会関係〕中部支部運営委員 昭和 61 年度~平成 3 年度, 評議員 平成 6~13 年度, 中部支部副支部長 平成 6~7 年度, 中部支部長 平成 8~9 年度, 中部支部監事 平成 10~13 年度, 代議員 平成 14 年度~現在

〔著書等〕ジャストインタイム生産システム (共著), ダイヤモンド経営実務講座 16 「生産管理」 (共著), 論文約 20 編, 講演・研究発表多数

小谷氏は, トヨタ自動車(株)に入社以来トヨタ生産方式の発展やその理論化に努力され, 特に組立ラインの投入順序づけの方法は門田教授の「Toyota Production System」に紹介され, この分野の研究の礎石となっています。近年はかんばん方式の最適運用のための理論構築に貢献されており, その成果は「e-かんばん方式」として日本はもとより海外の工場に展開されています。本学会においては, 中部支部の運営委員, 副支部長, 支部長として活動を支えてこれられ, 本学会の発展に貢献されています。

根本 忠明 (ねもと ただあき) 氏

昭和 20 年 5 月 10 日 生れ

〔現住所〕神奈川県相模原市桜台

〔学歴〕昭和 49 年 3 月 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程管理工学専攻満期退学

〔職歴〕

昭和 51 年 青山学院大学理工学部経営工学科講師

昭和 62 年 和光大学経済学部経済学科助教授
平成 5 年 同教授

平成 8 年 日本大学商学部経営学科教授

〔OR 学会関係〕「OR/MS」「情報ネットワークとその活用」研究部会幹事・主査, 監事 平成 13~14 年度

〔著書等〕戦略的情報システム (1990), アメリカクレジット産業の歴史 (共訳, 1999), 「OR 事典」他共



著5編，論文・講演・発表多数

根本氏は、日本ならびにアメリカの戦後のOR活動の普及過程と企業内でのOR活動の在り方を研究テーマとし、アメリカで始まった「OR/MIS 実施化研究」という業際領域の研究分野をいち早く紹介し定着化に努められ、本学会に「OR/MS」研究部会を設立されるとともに、研究発表会やOR誌等を通じて数々の提言をされました。その後、企業での経営情報システムや戦略システムのプロジェクト・マネジメントの調査・研究、最新情報技術の普及紹介や技術者の育成・指導にあたられ、最近、昭和30年代からのコンピュータ活用に先駆的活躍をされてきたユーザー企業やオンライン・プロジェクトの記録を残すことに力を注がれています。

能勢豊一（のせ とよかず）氏

昭和25年8月22日生れ

〔現住所〕大阪府大阪市都島区友濶町

〔学歴〕昭和55年 大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻博士課程満期退学（工学博士）

〔職歴〕

昭和55年 大阪工業大学工学部経営工学科講師

昭和62年 同助教授

平成4年 同教授

平成5年 同大学院教授

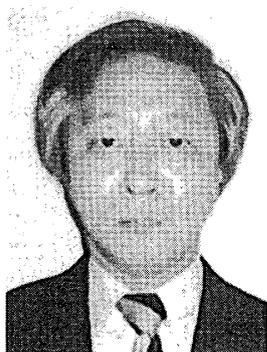
平成5年4月～平成9年10月 日本学術会議第3部経営情報研究連絡委員

平成9年4月～平成12年10月 同第3部企業行動研究連絡委員

平成15年7月 日本学術会議第3部会員

〔OR学会関係〕平成3年度・8年度秋季研究発表会実行委員，第6回RAMPシンポジウム実行委員，関西支部運営委員 平成3～10年度，関西支部研究部会主査 平成12～13年度

〔著書等〕グラフィック・マネジメント入門（共著，日本能率協会，1984），経営ハンドブック（共著，日本能率協会，1990），経営工学ハンドブック（共著，



丸善，1994）現代のマーケティング基礎と実践―（共著，建帛社，1999），複雑系の経営学（共著，税務経理協会，1999），パソコンによるデータマイニング（共著，日刊工業新聞社，2001），学生のためのITテキスト（共著，共立出版，2001）他5冊，主要論文90編，発表多数

能勢氏は、製品の品質と寿命を考慮した最適在庫管理を研究テーマとし、さらに、循環型社会の到来を在庫管理理論発展の延長線と捉え、平成12～13年度に「循環型システムとOR」研究部会の主査を務めるとともに、マネジメントの俯瞰的かつ横断的アーキテクチャ構築問題に取り組まれるなど、ORの在庫管理ならびに経営情報システム分野で活躍されています。

畑 昭彦（はた あきひこ）氏

昭和17年11月11日生れ

〔現住所〕神奈川県藤沢市鵠沼海岸

〔学歴〕昭和40年 武蔵工業大学経営工学科卒業

〔職歴〕

昭和40年 日本電気(株)入社

昭和59年 同情報処理第一公共システム事業部部長代理

昭和62年 同販売促進部長

平成9年 同技術戦略室エグゼクティブ・エンジニア

平成12年 同政策調査部調査統括部長兼(助)社会経済生産性本部情報化推進国民会議専門部長

平成14年 (助)社会経済生産性本部参与 現在に至る

〔OR学会関係〕理事（無任所）平成10～11年度，副会長 平成13～14年度，研究普及委員長 平成13～14年度，基本問題検討委員長 平成14年度

畑氏は、日本電気(株)で地方自治体のコンピュータ・ネットワークシステムに係わる業務に携わる一方、OR学会元会長水野幸男氏の下で情報処理関連のORシステムを研究されました。本学会においては、無任所理事として水野会長とともに支部を訪問し、学会改革の基礎固めに着手され、副会長時代には、学会の現状を深刻な問題と受け止めて発足された基本問題検討委員会委員長として答申の取り纏めに尽力されるなど、本学会の運営、発展に貢献されています。

